

第21期第6回常任理事会議事録

日時 昭和56年1月26日(月) 9.45~12.00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 荒井, 内田, 河村, 二宮,
松本, 増田, 村山

報告

〔庶務〕

1. 1月16日, 日本学術会議国際協力事業特別委員会委員長から, 「リンの循環と環境」に関するシンポジウムの開催について連絡があった(2月13日, 日本学術会議).
2. 1月16日, 文部省初等中等教育局長あて契約書(学術用語集「気象学編」)の更新について申請したところ, 更新契約書がきた。(更新期間56年1月28日~59年1月27日).

〔天気〕 編集書記の山崎百合子が2月末日で辞任するので後任に柴田悦子を採用したい。このため2月の約1ヵ月間見習が必要なので, この賃金を支出してほしい。

〔気象集誌〕 Vol. 59-1号は, かなり部厚くなる。外国の投稿者がある関係で少し遅くなっているが2月中には, 刊行できる。

特別号の外国へ出したインバイトペーパーの返事は, 1月15日現在45通きているが, うち30数人の方が執筆したいと申し出ている。

〔学会賞 藤原賞〕 学会賞5名, 藤原賞7名の受賞候補者の推薦がきている。従来は種々の事情で両方一緒に委員会を行ったが, 通常形に依り, 2月10日学会賞, 2月13日に藤原賞の選考委員を開くべく準備を進めている。2月中には理事会に報告できる見込みである。

〔学術用語〕 2月14日に委員会を開き増補について協議したい。気象研究所佐粧純男会員を委員とすることを了承,

議題

1. 昭和56年度予算(案)について

荒井会計理事から予算編成について次のとおり説明があった。

- (1) 租税公課, 税理士手当, 職員の特別昇給, フルバイト費等の支出増により100周年記念事業費積立金に, はね返りがきて50万円となった。しかし他

の項目からまわせば100万円程度にはできる。決算の段階では予定通り200万円は確保できる見込みである。

- (2) 繰越金が49万円で98万円の減となっている。
- (3) 郵便料金値上げにより, 通信運搬費が管理費事業費ともに大幅に支出増となった。
- (4) 印刷製本費は, 選挙関係の印刷物及び名簿の印刷がなくなったため大幅減となった。

以上の説明に対し活発な討論が行われた。

a) 100周年記念事業積立金は, 評議員会でも200万円を打ち出しているの, 時日の余裕があるので, 検討して欲しい。

b) 積立金を予算で減らしておいて決算で増やすことは好ましいことではない。

c) 繰越金は, 前年の計数がそのまま計上されているが, 空欄にしておいて3月31日に計数を入れるべきである。

d) 会議費のうち学会費, 藤原賞が一緒に2万円となっているが別々にして欲しい。2万円を追加することを了承。

これらの意見を考慮して総会までに予算(案)の手直しを行うことで了承された。

2. 岡田賞受賞候補者推薦について

竹内担当理事が都合により欠席のため増田副理事から次のとおり報告があった。

非公式に僅かの委員の間で話し合った結果数名の候補者が話題に出た。これらの推薦については, 委員の意見を調整して2月の理事会に報告したい。

なお, 理事の間から藤原賞との関連, 気象学会として推薦する規準のようなものを作ってはという意見が出た。

3. 陸水分科会委員の推薦について

日本学術会議の改選に伴い委員の推薦方依頼が委員長 井口昌平氏からあったので, 従来の方を推薦することを了承した。

榎根 勇 筑波大(地球科学系)助教授

坂上 務 九大(農)教授

樋口 敬二 名大(水圏研)教授

4. 気象100年史編纂について

河村理事から次回廻しにして欲しいとのことでした

承された。

5. 100年記念事業について

小平理事から75周年記念式典の模様、他学協会（大日本農会、東京地学協会、日本工学会）の100周年記念式典の状況について報告があった。当学会の100周年記念式典としては

- (1) 春季大会に合致させる場合、懇親会をどうするか
が問題である。
- (2) 功労者表彰の人選の件。
- (3) 会場、期日の件。
- (4) 記念パーティ出席者の会費の件。
- (5) 記念講演会の件。

以上の件について早急に準備委員会を実施計画（案）をまとめることとなった。

6. その他

- (1) 第12期地球物理学研究連絡委員会気象分科会委員の推薦について。

推薦委員会で9名の委員を決定し推薦する。

- (2) IAMAP 第4回（1985年）の会場について

気象研究所の増田、村山各理事、筑波大学の河村理事に筑波学園都市での会場等を調査してもらった結果の報告があったが、会場は問題がないにしても、時期は、科学博と重ならないようにすること。宿舎、費用の問題等引き受けるには慎重に検討する必要がある。

- (3) 書記見習のための賃金について

必要経費をできるだけきりつめて支出することを決定した。

承認事項 岩田信英ほか30名の新人会員を承認。